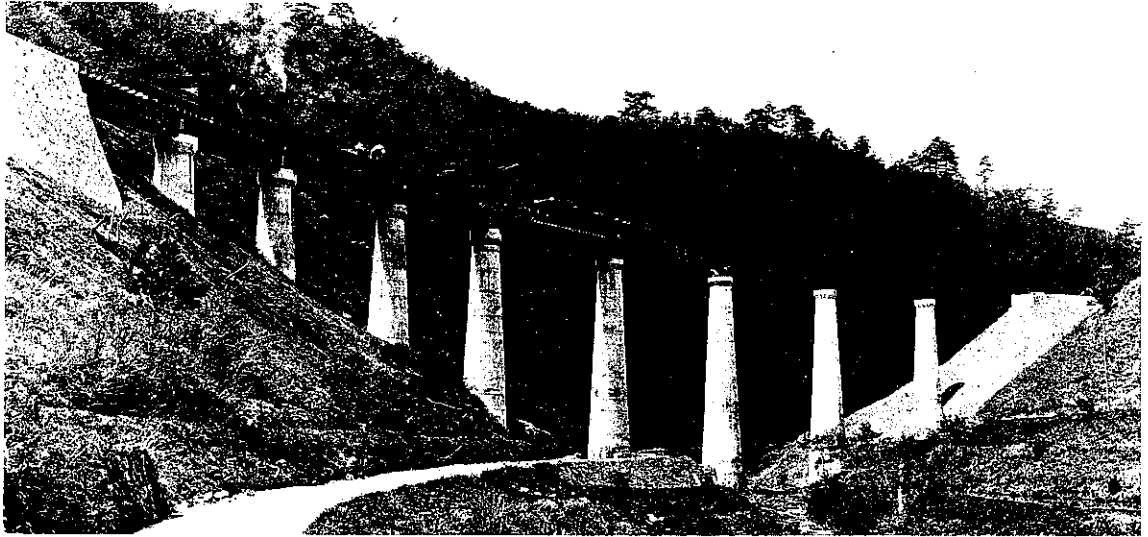


# 全通せる三新線

架橋中の第一小鳥原川橋梁 (小奴可備後落合間)

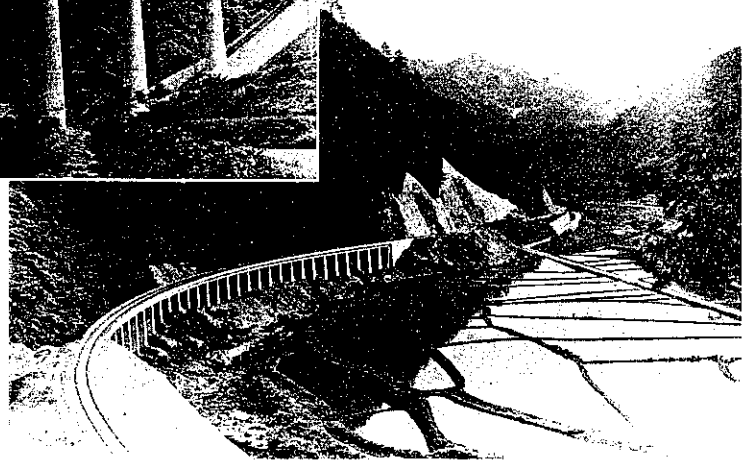


支間 0.8 m × 2 連, 12.9 m × 2 連, 19.5 m × 5 連, 全長 146.28 m  
橋脚: 中空鉄筋コンクリート, 最高水面より 23.0 m, 線路勾配 25/1000,  
曲線半径 200 m, (昭和 11 年 10 月 10 日開通)

完成せる第一小鳥原川橋梁



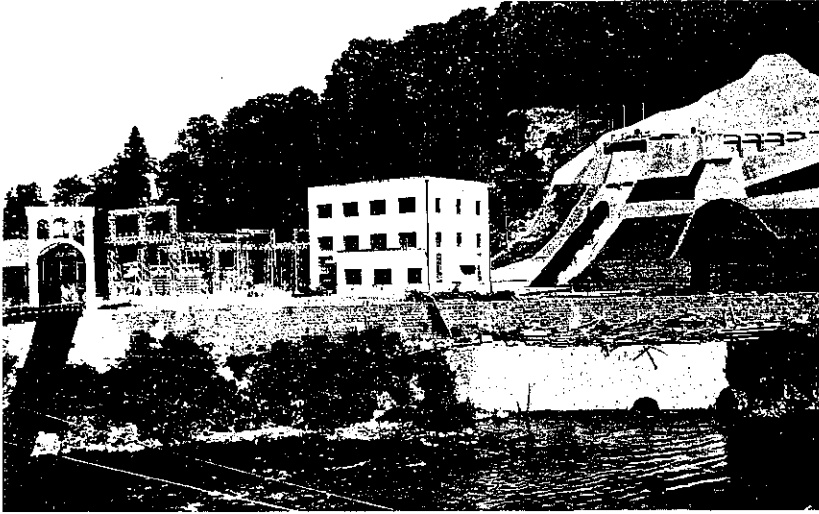
土居橋梁 (小奴可備後落合間)



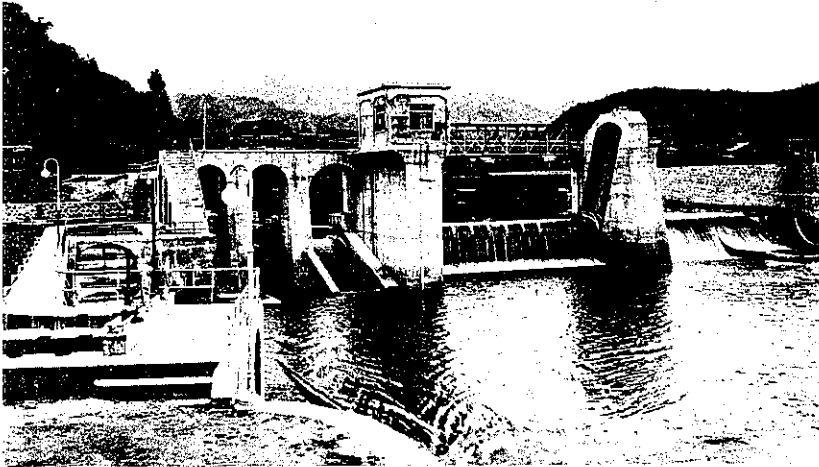
鉄筋コンクリート丁桁単桁  
支間 5.05 m × 30 連  
全長 164.55 m  
線路勾配 25/1000.  
曲線半径 200 m

(時報欄 1125 頁参照)

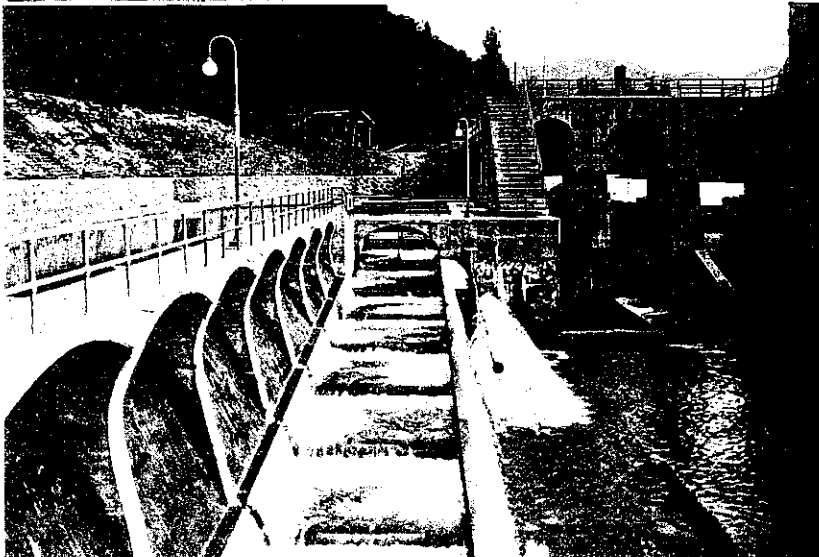
山形縣大鳥川



水槽發電所附近の全景



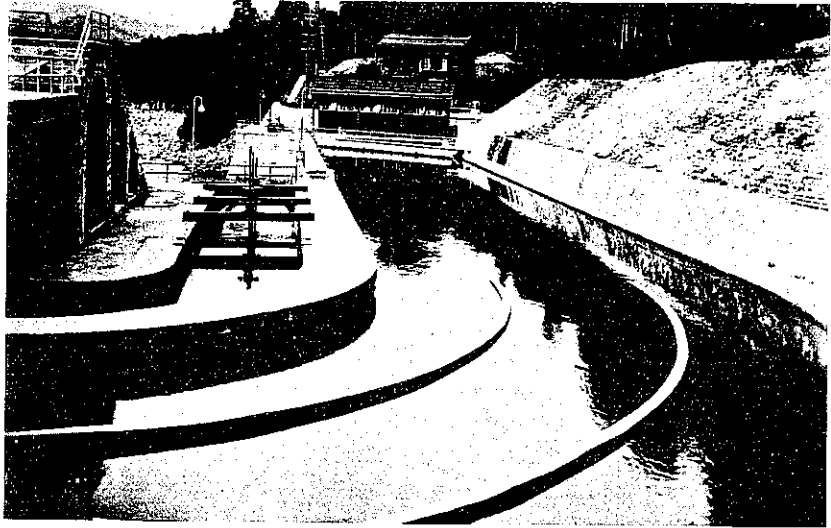
堰堤



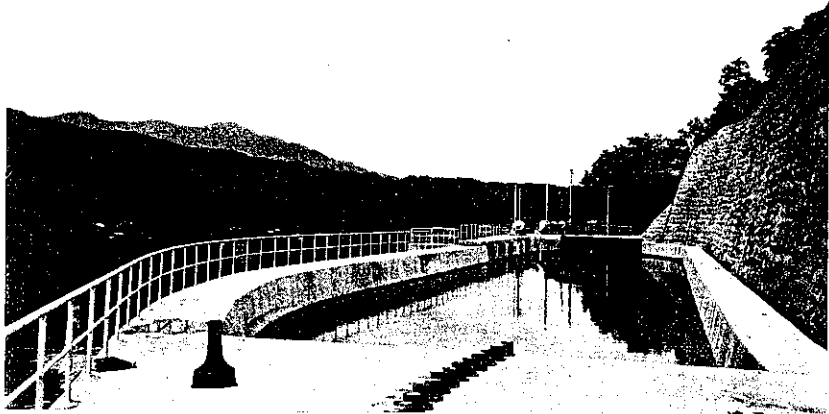
魚道、沈砂池、土砂吐及流木路

# 落合發電所

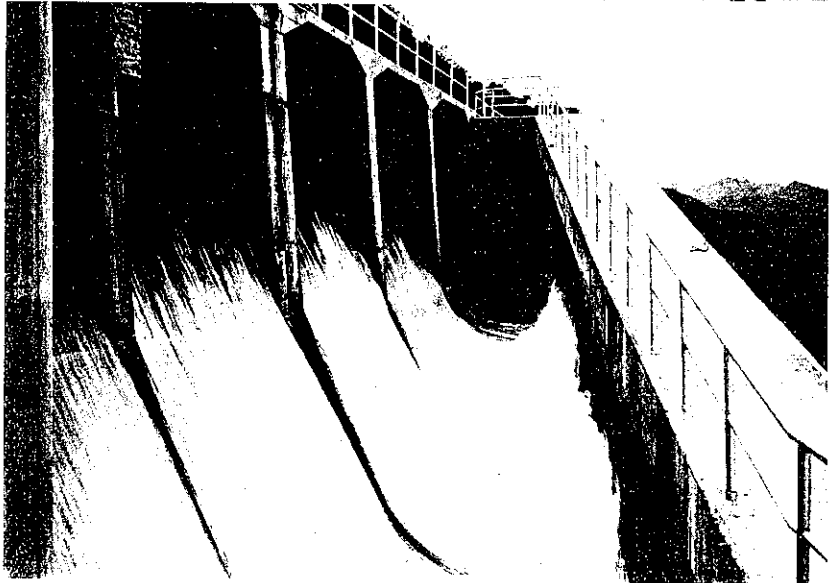
沈砂池及魚道ゲート



水槽（整流丸太併列）

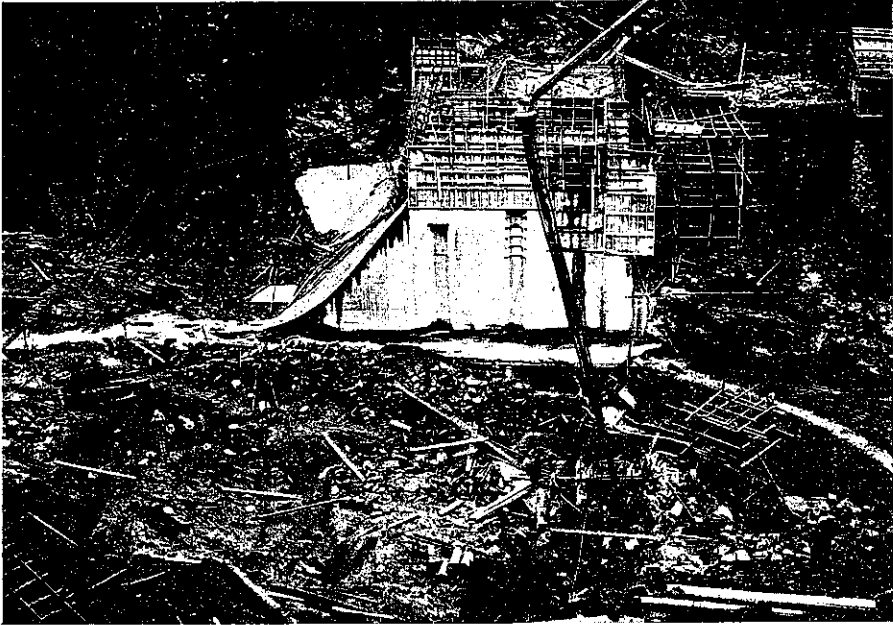


水槽餘水流出の景

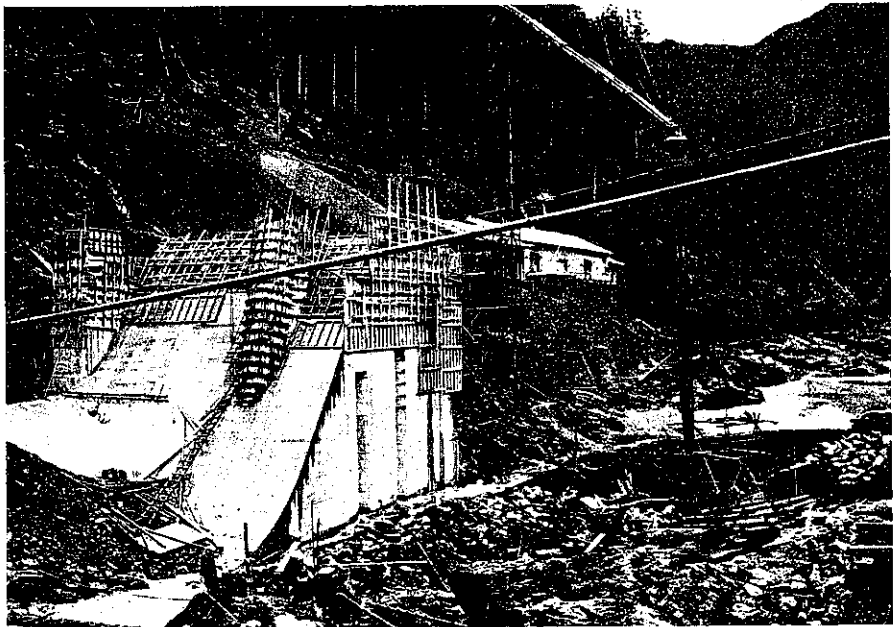


# 工事中の九尾堰堤

(宇治川電気)



左岸上流部より見たる工事進捗状況 (昭 11. 10. 9. 撮影)



左岸下流部より見たる工事進捗状況 (昭 11. 10. 9. 撮影)

熊野川の上流天ノ川(奈良縣)を、締切つて和田発電所の調整池を形造るのが九尾堰堤で基礎地盤は放射  
蟲板岩、硬砂岩である。

流域： 119.4 km<sup>2</sup>

總長： 65.5 m

總高： 22.8 m

有效水深： 6.0 m,

堰堤長： 溢流部 40.0 m, 非溢流部 25.5 m

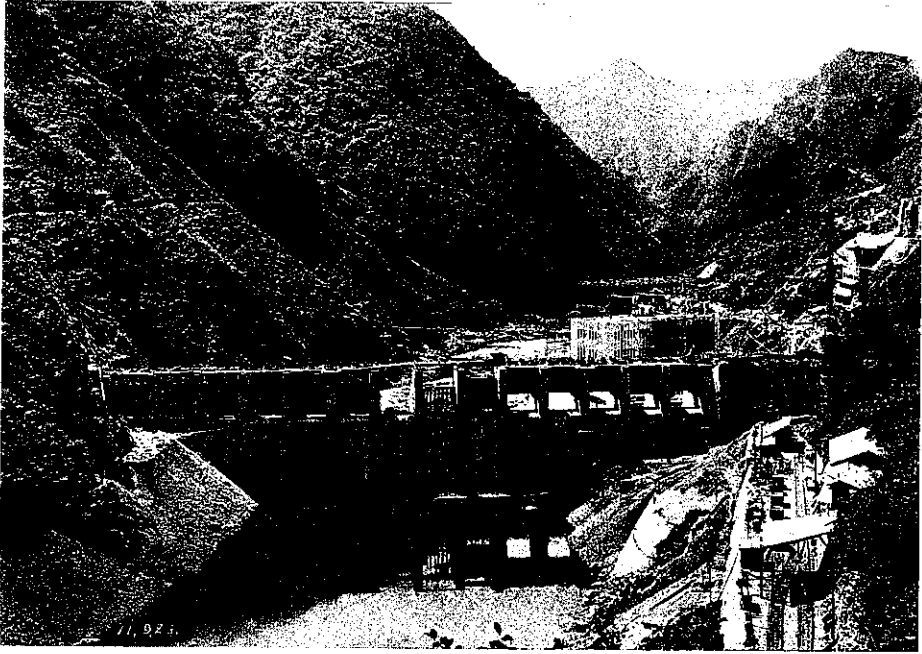
堰堤高： 固定部 17.0 m, 可動部(テンターゲート) 5.8 m

法： 上流部 0.1, 下流部 0.8

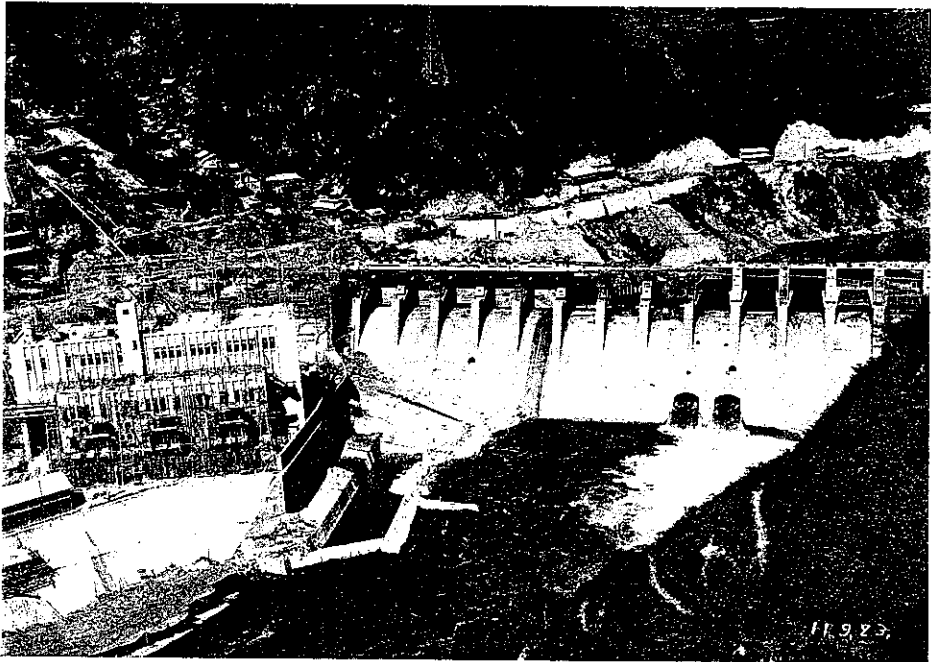
有效貯水量： 647 623 m<sup>3</sup>

# 工事中の笠置発電所

(大同電力株式会社)



上流より望む



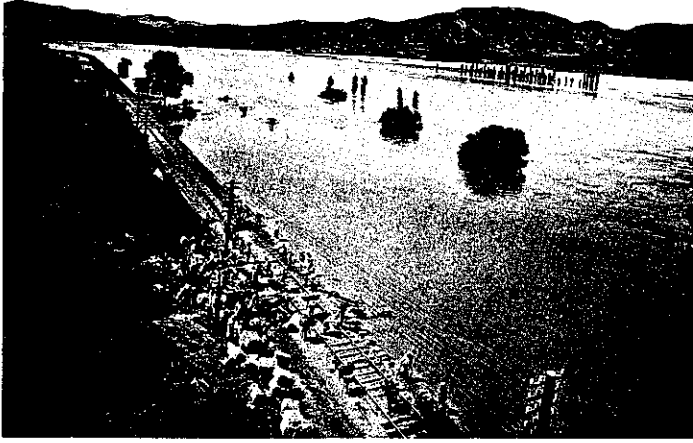
下流より望む

使用河川： 木曾川，  
出力： 35 500 kw  
最大水深： 34.576 m，  
総貯水量： 11 500 000 m<sup>3</sup>，

使用水量： 142 m<sup>3</sup>/sec      有効落差： 30.155 m，  
堰堤： 基礎岩盤石英斑岩，堤頂長 148.9 m，  
テンターゲート 14 門，各高さ 7.576 m，幅 8.6 m，  
有効調整水量： 5 150 000 m<sup>3</sup>，      有効水深： 6.06 m

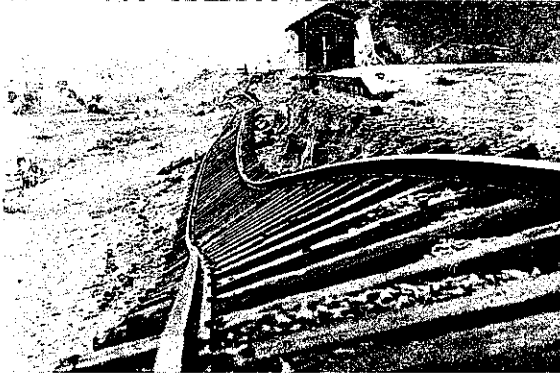
# 南朝鮮に於ける鉄道の水害

大邱技川間築堤缺陥箇所応急工事業中の状況



昭和 11 年 8 月 28 日午前 11 時 30 分  
施工基面上 20 cm 浸水  
築堤一部流失

東海北部線三日浦驛附近



驛地築流失

東海北部線臨南川橋梁附近



橋臺背部築堤約 80 m 流失せるを玉石を積重ね応急工事中

東海北部線三日浦驛附近

